

乙女高原ファンクラブ 2021年度

活動報告(ダイジェスト版) 2021.3.~2022.2.

■こんな1年間でした

1. 昨年度に引き続いてコロナ禍で十分な活動ができなかった。ほとんどの活動で一本公募ができなかった。しかし、少人数の有志で、感染対策を取りながら実施した。
2. 1年間で11名の入会者があり、現在、総入会者数は759名。
3. 活動への参加者数はのべ393人(04年度:811人, 05:1200, 06:1378, 07:1344, 08:1253, 09:1176, 10:834, 11:758, 12:590, 13:660, 14:630, 15:699, 16:846, 17:581, 18:775, 19:746, 20:233)。
4. 毎月第一土曜日に乙女高原へ行く自然観察交流会を実施6年目。
5. 環境省/日本自然保護協会「モニタリング1000里地里山調査」ヤマアカガエル産卵調査は8年目。合計20腹(14年:35腹, 15:42, 16:29, 17:25, 18:35, 19:22, 20:22)。
6. 山梨市駅前の街の駅にて、乙女高原の常設展示5年目。シーズン S25:乙女高原のスマイレ, S26:乙女高原の草花, S27:乙女高原のきのこ(新), S28:乙女高原の氷華(新)。
7. 3月に街の駅・市民会館にて「乙女高原ファンクラブ20周年展」を行った。
8. 第22回遊歩道作りは5/16は雨で延期, 5/23に3者協働で行った。
9. 11年目となるスマイレ観察。遊歩道作りの午後, 6/5に黄色いスマイレハイク。
10. 6・8・9月と、年3回のマルハナバチ調査を実施。19年目。
11. 夏休みのボランティアガイド復活6年目。計4日間実施。2日間はコロナで中止。
12. 高槻先生主導の「花と昆虫のリンク」調査、植生調査を行った。
13. 草刈りボランティアはコロナでイベントとしては2年連続で中止。有志で2回に分けて実施。県・市もそれぞれ別日に協力。
14. 1年延期された第20回乙女高原フォーラムはコロナ感染拡大のため再度中止。「生態系パートナーシップで草原を守る」をテーマに、**鷲谷いづみ**さんをゲストに行う予定だった。
15. 次の団体から助成金を拝受。
山梨市/乙女高原保護活動事業補助金(7万円), 富士フィルム/富士フィルム端数倶楽部(10万円), イオン石和/マックスバリュ東海(22,800円), 田丸グリーン基金(10万円)。
16. 計6回の乙女高原連絡会議・世話人会を開催。連絡会議は山梨県・山梨市の担当者を交えて開催した。2回目はコロナ禍の中、書面開催。
17. 会報「乙女高原が好き!」を年4回発行。鈴木さん・井上さんが編集, 芳賀さん・三枝さんが印刷, 発送を加藤さん・芳賀さん・井上さん・岡崎さんに。
18. メールマガジンを年21回配信し、ホームページを更新。
19. 2009年に始めたデータロガーによる気温の計測を継続。
20. 第5回乙女高原フェローは該当なしだった(これまでに22人)。
21. 遊歩道づくり, 草刈りボランティア, 乙女高原フォーラムは県・市との共催事業。今後とも行政との協働で乙女高原の自然を守り育てていきたいと思っております。
22. 10月, 恩賜林110周年記念大会にて感謝状を授与された。
23. 10月に山梨県立大学にてファンクラブの活動についてオンライン講義を行った。

■ 1年間のおもな活動の足跡 乙女高原ファンクラブ 2021

■ 3/11-16 20周年展



街の駅やまなし・多目的コーナーにて。パネル 16 枚+αを展示。展示および撤収作業のべ15人。会期中、受付係(ボランティアのべ16人)に常駐していただいた。終了後、山梨市民会館ロビーにて継続展示～3/27。

■ 3/14 2020年度定期総会



20周年展開催中の街の駅やまなしにて。参加者 14 人(他に委任状による参加 130 人)。世話人の改選。新世話人 9 人(後日、もう一人加わり 10 人に)。コロナ感染防止のため、椅子と椅子の間を大きくとって開催した。

■ 4/3 交流会・カエル産卵調査



環境省と日本自然保護協会によるモニタリング 1000 里地調査への参画。4/3 に産卵を初認。4/11, 18, 25, 5/2 の 5 日間調査。のべ 13 人。合計 20 の卵塊をカウントした。

■ 5/16→23 第 22 回遊歩道作り



コロナ対策で世話人・案内人の有志・市職・県職で実施。雨のため 23 日に延期して行った。市職・県職を合わせて 39 人(+16 日の 4 人)。9:30-12:30

■ 5/23 スミレの観察



16 人。サクラ、タチツボ、シロバナエゾノタチツボ、アケボノツボ、シロバナサクラスミレ、マンジュリカなどのスミレを観察。オオミズアオやクリンソウも観察できた。

■ 6/5 黄色いスマレウオッチ



13 人。黄色いスマレ・キバナノコマノツメの群生場所までハイキング。ツバメオモト、ミヤマハンショウヅルなど多くの植物を観察した。ミドリヒョウモンの幼虫もいた。10:00-15:00

■ 6/27 マルハナバチ調べ隊①



14 人。半分は小学生以下の子どもで、賑やかな観察会になった。ラインセンスで 9 頭。コマルハナバチのモズのはやにえを発見。

■ 7/3→11 谷地坊主の観察会



雨のため中止。翌週、植原が谷地坊主の身体検査のみ実施。写真は計測用の赤テープ付ポールを立てているところ。

■ 7/24 遊歩道の草刈り



7 人。遊歩道内に生えてきた草を刈り、歩きやすいようにした。このために購入した電動草刈り機は盗難にあった。写真は雨宮さんによる倉庫整理の様子。

■7/24-案内人夏の案内活動



夏休み中の土日、乙女高原案内人有志が交代で、乙女高原の案内活動を実施。4日間は実施したが、残りの2日間はコロナ感染拡大のため中止した。

■8/7 マルハナバチ調べ隊②



有志8人。県の新型コロナウイルス感染防止特別協力要請により中止。有志によりラインセンサス調査を実施。80頭。

■8/8「花と昆虫のリンク」調査



麻布大学高槻研究室で2013年に行った調査を昨年から。遊歩道を歩きながら全ての訪花昆虫を記録。8/29、9/12の3日間のべ11人。

■9/5 マルハナバチ調べ隊③



有志4人。県の新型コロナウイルス感染防止特別協力要請により中止。有志によりラインセンサス調査を実施。16頭。

■9/19 草原内植生調査



3人。高槻先生を団長に、草原内の10調査ポイントで方形枠を使った植生調査を実施。この調査は乙女高原がシカ柵で囲われる前から行われている。

■10/23「乙女高原のきのこ」展



今年度も乙女高原展を継続。シーズン25-28を展開。27は新作「きのこ」(写真)、28は新作・「氷華」。

■11/6 有志の草刈り①



コロナ禍で一般公募のイベントは開催できず、有志で2日実施することに。この日は20人。ロープ回収と整理は終了。

■11/23 有志の草刈り②



草刈り2日目。66人。遊歩道への刈り草の敷き入れが完璧にできた。これら2日間に加え、県の事業や市職員による草刈りが行われた。

■1/30 第20回乙女高原フォーラム
→中止

スペシャルゲスト：鷺谷いづみさん、テーマ：生態系パートナーシップで草原を守る。

コロナ感染拡大のため1年間延期したが、またも中止となった。

■乙女高原ファンクラブの歴史

- 1998.8 乙女高原自然教育研究会執筆・写真・編集による『乙女高原フィールドガイド』発行。
1999.9 「乙女高原の森」連絡会議発足。 2000.3 乙女高原スキー場用地使用協議の廃止。
2000.11 第1回「乙女高原の草原を守る！」草刈りボランティア開催。
- 2001.4 乙女高原ファンクラブ発足** 発足記念映画会 吉永小百合主演『明日は咲こう花咲こう』
- 2001.5 草原内の遊歩道を全面的に改定。土壌流失のひどい遊歩道は閉鎖。新遊歩道開設。
2002.3 **新事業**・第1回乙女高原フォーラム開催（ゲストは西丸震哉さん）西丸流自然とのつきあい方
2002.11 やまなし山の日イベント大賞受賞（受賞対象は乙女高原自然講座）
2003.4 **新事業**・乙女高原案内人養成講座スタート（03,04,05,08の4期）
2003.6 イタドリ刈り取り実験用コードラート設置
2003.6 **新事業**・マルハナバチ調べ隊スタート。（毎年3回）
2003.10 乙女高原で8月にマーキングされたアサギマダラが愛知県田原市衣笠山で再捕獲
2003.11 第4回乙女高原の草原を守る！で、キッズボランティア開始
2004.1 やまなし環境財団より若宮賞受賞
2004.4 (株)田丸グリーン基金より協力参加費をいただく。（以後、毎年）
2004.6 **新事業**・イタドリ刈りスタート。（2007年まで4年間）
2004.7 乙女高原案内人による夏の自主インタープリテーション活動開始（以後、毎年）
2004.12 真っ赤になったグリーンロッジの屋根について町と町教育委員会に意見書提出
2005.4 「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰受賞
2006.1 **新事業**・山梨市民会館ロビーにて乙女高原開催（以後、毎年）
2006.5 月に一度の乙女高原案内人勉強会スタート
2006.12 山梨鈴木助成事業財団の助成により『乙女高原案内人 誕生と成長の記録』刊行。
2007.6 全労済の助成金を活用し乙女高原フィールドガイドII『マルハナバチ』を作成。
2008.6 **新事業**・アサギマダラ調べ隊スタート（マーキングされたチョウが兵庫・高知で再捕獲）
2009.4 (株)田丸グリーン基金を活用し、乙女高原フィールドガイドI『お花たち』を改訂増刷
2009.7 (社)関東建設弘済会「関東・水と緑のネットワーク拠点百選」に当選
2009.11 **新事業**・乙女高原に自動温度記録計設置（気温・地温）。計測スタート
2010.5 **新事業**・草原2箇所、湿地1箇所、計3箇所にシカ柵設置。以後、モニタリングを行う。
2010.11 乙女高原が山と溪谷社・日本山岳遺産基金による「日本山岳遺産」に認定される。
2011.5-6 3回のスマレ観察会を実施。
2011.6 麻布大学高槻研究室のシカ柵内外の植物調査に協力。
2011.11 東京農工大星野研究室・(株)田丸の協力で藁撒きプロジェクト(刈り草を残土処分場へ)を実施。
2012.1 乙女高原フィールドガイドIII『スマレ』を発行。
2012.8 自主的に百葉箱を設置、ベンチ・テーブルの修理と新設、案内板を修理。
2013.6 **新事業**・草刈りの時期を変えて草刈りの効果を確める刈り取り実験。
2013.11 11年分のメールマガジンを編集した『乙女高原大百科』を刊行。
2014.3 環境省/日本自然保護協会のモニタリング1000里地調査に参加。ヤマアカガエル産卵調査を開始。
2014.11※山梨ロータリークラブより乙女高原自然観察案内看板が寄贈される。
2015.8 **新事業**・谷地坊主の観察会
2015.11※乙女高原を取り囲むシカ柵完成（市の事業による）
2016.4 **新事業**・街の駅やまなしにて、乙女高原(ファンクラブ)の常設展開始
2016.11 **新事業**・草刈りボランティアに山梨市駅からの送迎バス運行
2017.4 **新事業**・乙女高原フェロー制度をスタート。2018年1月のフォーラムにて5人をフェロー認定
2018.2※「乙女高原の谷地坊主」が山梨市の天然記念物に指定される
2019.1 おもてなしのやまなし知事表彰を受ける
2019.11 第20回草刈りを記念し13団体に感謝状と記念品贈呈。記念ステッカーを作成し、参加者に配布
2019.11※山梨ロータリークラブより谷地坊主看板が寄贈される。
2020-2021. 新型コロナウイルス感染防止のため、活動に様々な制限
- 2021.4 乙女高原ファンクラブ20周年** 2021.3 街の駅やまなしと山梨市民会館にて記念展
2021.10 恩賜林110周年記念式典にて感謝状を授与される。

乙女高原ファンクラブへの連絡先

【事務局】植原 彰(方) 〒404-0013 山梨県山梨市牧丘町窪平 1110-3
TEL FAX 0553-35-3682 電子メール otomefc@fruits.jp
ウェブページ <http://fruits.jp/~otomefc/>

●郵便振込● (番号)00220-8-71093 (加入者名)乙女高原ファンクラブ